

お客様各位

2012年6月25日

白山工業株式会社

## うるう秒調整時の挙動 長期環境計測データロガー

### 長期環境計測データロガー LS-3350

※LS-20K と接続した場合の挙動です。接続していない場合はうるう秒を考慮しません。

#### [GPS モジュール]

LS-3350 には GPS モジュールは搭載されていません。

接続している LS-20K が 2006 年以前にご購入された機器で GPS モジュール交換を行っていない機器の場合、8:59:46～8:59:59 の間に重複が発生し、09:00:60 の出力や 9:00:00 を出力しないなどが発生します。

うるう秒調整によるハングアップは発生しません。

#### [挙動詳細 (日曜日)]

##### 測定データ)

LS-3350 はうるう秒調整に対応していません。そのため、LS-20K から出力されているシリアルデータにうるう秒調整の時刻情報(09:00:60)がある場合、時刻を解釈できずにタイムスタンプの重複によるデータ欠落が発生します。

LS-20K からのシリアルデータが重複している場合もデータ欠落が発生します。

※サンプリングにより、9:00:00～9:00:10 の間に重複やデータが発生します。

##### LCD 表示時刻)

重複した時刻情報の受信時やうるう秒調整後に同じ時刻を 2 秒連続して表示します。

#### [挙動詳細 (日曜日以外)]

##### 測定データ)

うるう秒調整の時刻情報(08:59:60)の時刻を解釈できずにタイムスタンプの重複によるデータ欠落が発生する可能性があります。

※サンプリングにより、9:00:00～9:00:10 の間に重複やデータが発生します。

##### LCD 表示時刻)

うるう秒調整後に同じ時刻を 2 秒連続して表示します。

#### [うるう秒調整後に動作させる場合]

接続する LS-20K を 30 分間動作させ、アルマナック情報を取得させてからご使用ください。アルマナック情報の取得は GPS アンテナを接続して衛星が補足できる状態で行ってください。